

であい・ふれあい

NO. 2

R2. 2. 1

笠間ふれあい体験旅行
推進協議会事務局発行

2016年に始まった「笠間ふれあい体験旅行」の取り組みは昨年（2019年）で4年目となり、市民の皆様のご協力により取り組みは年々充実してきております。

次ページの表の通り、昨年は14ツアーの受け入れを行い、国内外から1,000名近い人が笠間を訪れ、農業体験や陶芸体験など笠間ならではの様々な体験をしました。最近の特徴として、海外（特に台湾、中国）の学校が民家でのホームステイや日本の学校との交流を希望する事例が増えてきています。東京オリンピックを控えて、この傾向はますます加速するものと思われます。笠間市は、陶芸や農業はもちろん神社仏閣、カフェなどの店舗も豊富で子ども達の体験学習の場として非常に大きな可能性を持っております。こうした笠間のもつ強みを活かして「ふれあい体験旅行」を推進することにより、笠間に関わる人の流れを拡大し、まちの活性化につなげたいと考えております。引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

笠間ふれあい体験旅行推進協議会会長 小沢 敦



民家体験に参加した子ども達の声



民家体験で心に残ったことは・・・（浦安市立入船小学校4年生）

- もちろん陶芸もとっても楽しかったけど私が一番心に残ったのは、笠間市の方々にとってもやさしくしてもらったことです。
- オクラをとる仕事がとても楽しかったです。やぎ（じろうくん）にオクラをあげるのがたのしかったです。
- 心に残ったことはツリーテラスです。お昼の時のジャガイモのみそしるがおいしかったです。また行きたいです。
- 今までの校外学習の中でこれが一番楽しかったと思います。
- ジャがいもほりは自分で120これたのでうれしかったです。山でのごはんは虫が多かったけど、いつもよりばつぐんにおいしかったです。
- 家がまようぐらい、広かったこと。
- たくさんの自然に囲まれてゆたかなくらしをしていると感じたことです。

笠間ふれあい体験旅行の取組み（2019年1月～12月）

訪問期日	体験旅行の内容	訪問人数	受入民家、施設等
1/18（月）	中国四川省成都市小学生交流体験 宍戸小4・5年生徒との交流体験、合気道体験	66人	宍戸小学校4, 5年生 合気会茨城支部道場
1/29（火） ～31（木）	台湾私立華盛頓高級中学民家体験 民家でホームステイ、箸づくり体験、笠間焼体験	77人	民家11軒 木エボランティア 大津晃薫
2/8（金） ～10（日）	マレーシアSERI TAMANKOSAS中等学校生徒民家体験 民家でホームステイ、合気道体験	20人	民家5軒 合気会茨城支部道場
3/23（土） ～27（水）	アメリカミドルベリー大学日本校留学生ホームステイ 民家でホームステイ、地域活性化のためのフィールドワーク等	7人	民家3軒
6/7（金）	千葉県立浦安高校1年生民家体験 民家体験（農業体験、陶芸体験等）	236人	民家64軒
6/29（土） ～30（日）	浦安ボーイスカウトキャンプ 飯盒炊爨、ホテル観賞、ペンダント作りワークショップ等	37人	岩間体験学習館 地域交流センターいわま
7/24（水） ～25（木）	江戸川区立鹿本中2年生民家体験 民家でホームステイ、民家体験（農業体験、陶芸体験等）	114人	民家31軒
9/11（水）	浦安市立高洲中2年生民家体験 民家体験（農業体験、陶芸体験等）	179人	民家60軒
9/20（金）	浦安市立入船小学校4年生民家体験 民家体験（農業体験、陶芸体験等）	67人	民家18軒
10/18（金） ～19（土）	JICA青年研修モデル農業研修生ホームステイ 民家でホームステイ	5人	民家3軒
10/23（水） ～24（木）	台湾旅行会社農業農村体験モニターツアーホームステイ 民家でホームステイ、農業体験	6人	民家2軒
11/13（水）	中国教育旅行関係者笠間視察（中国学校関係者等） 笠間ふれあい体験旅行の説明、合気道体験	36名	地域交流センターいわま 合気会茨城支部道場
11/23（土）	浦安市立入船小学校先生職員旅行 陶芸体験等	20人	大津晃薫他
11/25（月） ～26（火）	台湾旅行会社農業農村体験モニターツアーホームステイ 民家でホームステイ、農業体験	6人	民家2軒



*計876名が笠間で民家体験・体験学習（うち海外から223名）
*受入民家・・・延べ199軒

民家体験の感想（浦安市立高洲中学校2年生）

- ・今まで都会が勝ち組だと思っていたけれど、田舎には都会にないところがたくさんあって、行ってよかった。
- ・台風の後に行って、民家の畑のキュウリやナスが飛ばされていたり傷ついていたり栗はほとんど落ちてしまって食べられなくなってしまったので、台風の被害の悲しさについて分かった。
- ・民家の人たちはとても心優しい人だった。自分の家に帰りたくないほど楽しかった。
- ・自分のおじいちゃん、おばあちゃんの家に来たみたいでした。
- ・「農業は大変だし、疲れる」などの印象がプラスに変わった。
- ・過去の学校行事の中で一番充実した、たくさん学ぶことのできた体験でした。

「・・・アンケートのすべての感想に目を通しましたが、・・・生徒たちの言葉に感動しました。子供たちの感想には心から傷き出てくる思いを書き綴っている生徒が何人もおり、人生親を変えるきっかけになる体験ができたのだと確信しました。・・・私自身の教員人生の中で経験した林間学校の中でも最も林間学校らしく、一番の林間学校と自信をもって言えます。あれだけ多くの民家の方々にご協力を頂き本当に感謝しかありません。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。」

浦安市立高洲中学校の先生からのお礼状



<野菜の収穫体験>



<陶芸体験>

受入れた民家の方の感想

- ・浦安の生徒さんたちの環境と笠間の環境が異なることで、いろいろと感動してくれたことにこちらでも感動しました。よき出会いに感謝します。
- ・とにかく学生さんたちが可愛い。自分たちにも新しい発見がある。
- ・中学生とふれあうことで高齢者も元気をもらいました。楽しかったです。
- ・素直で子供らしい生徒でした。私たちも元気を頂きました。・・・帰りには「めちゃ楽しかった」と喜んでくれました。
- ・子供たちがとてもかわいらしくて素直でいろいろ話ができうれしかった。小学生は特に無邪気で何でも話をしてくれて孫のようでした。



<お別れ・見送り>

『民泊』で笠間のまちににぎわい創出を！

昨年6月から、自宅や空き家を活用してお客さんを有料で泊める「民泊」の取り組みが可能となり、笠間市内でもこれに取り組む人が増えています。宿泊施設が少ない笠間にとって「民泊」で笠間に宿泊し滞在する人が多くなることは笠間の魅力向上につながります。本協議会では陶炎祭（ひまつり）などのイベントや農業体験、陶芸体験などと民泊をつなげることで、笠間とつながる「笠間ファン」の拡大をめざしています。

笠間の7軒の登録「民泊」に宿泊したお客さんの延べ人数（登録してから昨年11月まで）は下記の通りです。民泊について関心のある方は下記《連絡先》までお問合せください。

宿泊客数	内 訳	
	日本人	外国人
2,013 人泊	954 人泊	1,059 人泊

*（お客さんの数）×（宿泊日数）



引き続き・・・受入れ民家を募集しています！

現在、受入れ協力民家は150軒ほどです。ご協力いただける方、関心のある方は下記《連絡先》までお気軽にお問い合わせください。

《連絡先》 笠間ふれあい体験旅行推進協議会事務局
090-5765-0544（NPO 法人笠間の魅力発信隊 大坪）

【笠間ふれあい体験旅行推進協議会】

<役員等> 会長 小沢 敦
副会長 小幡 耕一 酒井 芳樹
監事 笠間市観光課長、笠間市商工会事務局長
事務局 (NPO) 笠間の魅力発信隊 大坪 桂

<構成団体・個人>

笠間市観光課、(一社)笠間観光協会、(一財)笠間市農業公社、笠間アグリビジネスネットワーク協議会、笠間稲荷神社、笠間市商工会、笠間焼協同組合、笠間稲荷門前通り商店街協同組合、稲田禅房西念寺、(株)笠間工芸の丘、(NPO)グラウンドワーク笠間、(NPO)あしたを拓く有機農業塾、(NPO)笠間の魅力発信隊、ストームフィールドガイド、酒井芳樹(陶芸家)、古民家の宿「黒澤永之丞」柴沼淳